



夏季手当は出たけど…

疑問、不信、不満の声が多数

これが会社の姿勢なのか？

府中本町駅分会NEWS



JTSU-E 府中本町駅分会

2020.6.20

No.001

6月10日に夏季手当が基準内賃金の2.4ヶ月+5000円で受給しました。

「2.4ヶ月のうち、0.1ヶ月分は感染症に対する不安・緊張感に対する支給」「新たなワークスタイル・ライフスタイルに挑戦してきたことに対する支給」という会社回答に対して、職場の組合員からは様々な声が上がっていますので紹介します。

- 「役員報酬は10%自主返納だそうです、私たちのボーナスは前年比-17.5%なんですけど…コロナにかかるか否かで、命がけで仕事しているんですが…納得いきません」
- 「そもそも自主返納ってどうやっているの？以前、給与の誤支給で一度支給された給与を戻入(返すこと)したときには振込用紙が来たけど、そういうのがあるの？」
- 「役員報酬を『自主返納した』っていうのはどうやって知るの？一般社員の方がカットされているのに、信用できるの？」
- 「そもそも夏季手当の支給判断は「前年度の下期決算が基準」なんですよね？それをコロナを理由にして減額はないんじゃないですか？そしたらコロナで自主返納云々の前に去年の台風で新幹線車両を沈め、現場には避難の指示も出さないで自衛隊にお世話になったりした経営責任をとるべきで、ウチらが割を食うのはおかしくないですか？」
- 「本部の情報にあったとおり、『現場を愚弄している』としか思えません！」

ある職場の管理者は「出ただけました」というようなことを社員に言っているそうです。

このコロナ禍の中、現場の私たちは社会生活を維持するために自らがコロナに感染するかどうか、体調に不安を抱えながら仕事をこなしています。「会社が上」「従うべき」といった風潮づくりには疑問を持たざるを得ません！

労使対等の原則を求めるために

今こそJTSU-Eに結集しよう！



口を開けば否定的な声ばかりかもしれません、が…
やらせなしの本音。
こういう本音を語れる場所が、いま必要ではないですか？

まもなく2020年度夏季手当が支給されますが、改めて働く仲間の声を聞くと、その内容に関して否定的な声が多く聞かれます。「会社の批判ばかり」と言う前に、私たちの声も聞いてください。過日情報でお知らせした通り、世論も私たちに同調しているのです。

私たちJTSU-Eは働く仲間の声を選んでいません。これが本音なのです！

**本音を語り合うだけではなく、形にして会社へ。
それができるのは労働組合だ！**